


行政視察等報告書

令和2年2月10日

境港市議会
議長 柗 康 弘 様

会派名 無所属
代表者 景 山 憲 

下記のとおり行政視察（調査・研修）を行ったので、その結果を報告します。

記

| | |
|----------------|---|
| 1 視察等期間 | 令和2年1月27日（月） |
| 2 視察先等 及び内容 | <p>△研修先 東京都 アットビジネスセンター △研修主催者 （株）地方議会総合研究所 △研修内容 障がい福祉の今日的な課題とこれから 地方自治体に必要な取り組みを考える</p> <p>○この研修は、筑波大学 常勤講師 小澤 温 氏の講義を受けたものであり、内容は以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none">1 障がい者の支援について2 発達障がい者（児）の現状と課題について3 精神障害者の現状と課題。4 生活困窮者と障がい者福祉、地域共生社会に向けての課題5 障がい者の高齢化の現状と課題6 第6期障害福祉計画、第2期障害児福祉計画策定に向けて 上記の6項目をテーマとしての講義・研修であった。 <p>○この講義・研修には全国の地方自治体から25名の参加があり、これからの障がい者施策に係る、厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部企画課作成の資料もあり、今後を考えるいい内容であった。</p> |
| 3 視察等議員 | 景 山 憲 |
| 4 総 経 費 | 合計（1名）52,260円 1人当たり 52,260円） （研修参加料 25,000円を含む） ※一人当たり経費に端数が出る場合は円未満切り捨て |
| 所 見 等 | 別紙のとおり |

■講義内容の概略

1 障がい児支援について

障がい児の関する相談支援の重要性

- ・制度の谷間としての障がい児の問題、障がいのある子ども、気になる子ども、個性的な子ども、の連続性と制度の分断。
- ・障害児入所施設→地域とのつながりが無い。

2 発達障がい者（児）の現状と課題

発達障害の定義

- ・自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障害などの脳機能の障害で、通常低年齢で発現する障害。
- ・就学前（乳幼児期）、就学中（学童期等）、就学後（青壮年期）の段階があり、それぞれの時期に適切な支援が必要。

3 精神障害者の現状と課題

退院促進、地域移行

障害者の総数は、936.6万人であり、人口の約7.4%

精神障害者は、392.4万人

- ・精神障害者の入院は長期になる傾向が強い。入院から退院、就労への支援事業の充実が必要。精神障害に対応した地域包括ケアシステムの構築が急がれる。

4 障害者の高齢化の現状と課題

障害者福祉と高齢者福祉の制度の移行問題 「親亡き後」問題

介護保険制度と福祉サービスの利用調整

■所見

本セミナーの参加し、改めて障がい者への福祉サービスの現状と今後の施策について認識を新たにすることが出来た。障がいの内容も多様であり、それぞれの特徴に対応していかなければならないわけであるが、まだまだ途中との感がある。切実なのは「親なき後」の場の確保、受け入れ施設などの整備促進。課題は多い。人として生まれたからには尊厳をもって社会の中で生きていける施策の一層の拡充が図られなければならない。ともに生きる社会の促進、取り組みを図ることが求められる。